

皆様からいただいたご寄付の使いみち

日本赤十字社では、皆様からお寄せいただいたご寄付により、大規模災害に備えた災害用資機材や救援物資等の整備を行っています。赤十字の様々な活動を即座に、また継続的に行うためには、皆様からのご寄付が最大の支えとなります。



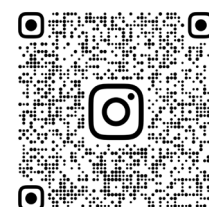
活動資金へのご協力ありがとうございました (敬称略・地区順・五十音順)

日本赤十字社京都府支部の活動は、皆様のご支援により支えられています。令和6年4月から令和7年3月の間に、10万円以上のご寄付をいただき、掲載についてご了承いただいた会員の方々をご紹介します。

北区 加勢 本子 黄 當時 上京区 CRASリフォーム株式会社 小林 裕 立原 貴代 株式会社ユーテック 左京区 株式会社IMOTO経営研究所 岩本 馨 牛田 順子 京都在籍能楽師有志 瀬戸山 晃一 添田 侑 藤田 昂志	中京区 大橋 芳夫 紀田 貢 日本テレネット株式会社 医療法人 西大路病院 吉田 明 株式会社社和家 東山区 石室 良孝 清水観光株式会社 下京区 株式会社京都フィナンシャルグループ 日本ホールディングス株式会社 湯口 翼 頼藤 弥生 ワタキューセイモア株式会社	南区 岡本 功 京都ケアサービス株式会社 株式会社 セレマ 右京区 池田 栄人 石原 享子 大辻 啓夫 株式会社浄美社 松芝 政子 株式会社ユタカ 伏見区 石黒メディカルシステム株式会社 京都府軽自動車協会 小西 和代 株式会社ヤマモトホールディングス	宇治市 株式会社白川工業 谷口 辰夫 谷口 由美子 中澤 富美子 山村 祐嗣 株式会社洛南エンジニアリング 綴支部 浅倉 修 大槻ポンプ工業株式会社 山崎 清吾 吉田 直美 福知山市 株式会社クリア 山下 裕 宮津市 河嶋 義孝	舞鶴市 レンタカーパートナーズ株式会社 長岡京市 医療法人信成会 八幡市 丸岡組 丸岡 光弘 京田辺市 吉田 浩章 京丹後市 パナソニックライティングデバイス美浜株式会社 山城(山城南) 株式会社アイエス 井上 茂 株式会社井上製作所 南丹 株式会社須知建設
--	---	--	--	---

令和7年度 日本赤十字社京都府支部 一般会計歳入歳出予算

歳入の部	予算額(千円)	内 訳
社 資 収 入	284,000	皆様(個人・法人)からの社資、寄付金など
委 託 金 等 収 入	5,648	献血推進事業に係る京都府からの委託金
繰 入 金 収 入	2,840	管内施設からの負担金繰入金など
雑 収 入 等	67,437	講習会負担金収入、前年度繰越金など
歳 入 合 計	359,925	
歳出の部	予算額(千円)	内 訳
災 害 救 護 事 業 費	40,293	災害救護に係る経費、救護資機材等の整備費、救護看護師の養成経費など
社 会 活 動 費	77,222	救急法、水上安全法、幼児安全法等の講習開催経費、赤十字奉仕団や青少年赤十字の育成費など
国 際 活 動 費	1,314	国際開発協力事業に係る経費
指定事業地方振興費	7,000	災害救援設備の整備に係る経費など
地区区分交付金	36,778	地区区分の事務費及び事業費
社 業 振 興 費	49,486	会費の募集、広報活動に係る経費など
基盤整備交付金・補助金支出	21,649	医療施設や血液センターの基盤整備のための交付金
積 立 金 支 出	7,592	退職給与資金特別会計積立金など
本 社 送 納 金 支 出	40,800	本社の国内外の活動に係る経費
総 務 管 理 費	66,734	光熱費、事務費など
資産取得及び資産管理費	6,057	庁舎の維持管理費など
予 備 費	5,000	
歳 出 合 計	359,925	



日本赤十字社
京都府支部の
HPはこちら!

Red Cross Kyoto 赤十字きょうと



令和元年の開催以来、5年ぶりに開催された
令和6年京都府赤十字大会の様子を、
余すことなくお届けします!



京都第二赤十字看護専門学校生による
「あこがれの赤十字」の斉唱



令和6年能登半島地震における活動報告



西脇支部長による式辞



鈴木副社長による有功章の授与



令和6年京都府赤十字大会

令和6年11月12日(火)ザ・プリンス京都宝ヶ池にて、令和6年京都府赤十字大会が開催されました！式典には約500名の方々が参加され、日頃からご活躍いただいている奉仕団員、有功会員、地区・分区等の関係者の皆様一堂に会される大会となりました。これまで、日本赤十字社京都府支部事業の推進に多大なご尽力をいただいた方々の功労を称えとともに、皆様からのご支援により行われた日本赤十字社京都府支部の活動についてご報告させていただきました。

受章された皆様 代表謝辞



日頃より、京都府支部赤十字事業に対し、様々なかたちで皆様にご支援をいただいておりますが、令和6年京都府赤十字大会において以下の区分に該当する181名、24法人の方々に対し有功章等を表彰いたしました。

金色有功章 〔個人16名、11法人〕	※多額(一時又累計で50万円以上)の活動資金をご寄付いただいた方々
銀色有功章 〔個人7名、3法人〕	※多額(一時又累計で20万円以上50万円未満)の活動資金をご寄付いただいた方々
社長感謝状 〔個人5名、4法人〕	※金色有功章受章後、更に多額の活動資金をご寄付いただいた方々
京都府支部長表彰状・感謝状	
●役職功労(支部役員)〔個人11名〕	※支部役員として10年以上ご尽力いただいた方々
●役職功労(地区・分区役員)〔個人3名〕	※地区・分区役員として10年以上ご尽力いただいた方々
●社業幹旋功労〔6法人〕	※積極的に多額の活動資金協力者の幹旋にご尽力いただいた方々
●指導者功労(地域奉仕団)〔個人91名〕	※赤十字地域奉仕団の指導者として10年以上その育成にご尽力いただいた方々
●指導者功労(特殊奉仕団)〔個人10名〕	※赤十字特殊奉仕団の指導者として10年以上その育成にご尽力いただいた方々
●青少年赤十字〔個人6名〕	※青少年赤十字指導者として10年以上ご尽力いただいた方々
●指導者功労〔個人32名〕	※救急法等の指導員として10年以上その普及にご尽力いただいた方々

大橋 芳夫 様 金色有功章受章者

私には4人娘がおり、その次女が11年前、京都第一赤十字病院で802gの超未熟児で産まれました。多くのスタッフのおかげで、元気に成長し、現在は小学5年生になりました。本当に感謝の気持ちで一杯です。そのようなご縁もあり、日本赤十字社へ寄付をさせていただきます。



受章者代表謝辞の様子

受章の様子



金色有功章(法人)
木津運送株式会社 様



社長感謝状
松芝政子 様



銀色有功章(法人)
株式会社神田組 様



京都府支部長表彰・感謝状
京都府支部有功会綾部市地区支会 様

実践活動報告

お2人から、令和6年1月1日に発生した令和6年能登半島地震に対する実践活動について報告をしていただきました。

本田 智子 看護師長 舞鶴赤十字病院



本田師長は、日本赤十字社京都府支部救護班の第1班として、令和6年1月8日～12日まで現地にて活動されました。

報告抜粋

救護班の現地での活動は、発災後1週間を過ぎたところで、避難所で自力で生活環境を整えてこられた被災者の方々から、困っていることなどの聞き取りを行うことから始めました。

「医療じゃなくて介助者が欲しい」「夜が不安で24時間いてほしい」という被災者の方々からの声に、心が痛む思いでした。衛生面の問題解決のためトイレ掃除をしたり、避難所での体調不良者へのアセスメント、二次健康被害の予防のため、被災された日から常服薬を飲まれていない方に、代替え薬の検討などを行いました。

1人1人の力は小さく何ができたかと無力さを感じることもありましたが、次の救護班に引継ぎ、途切れることなく継続する赤十字救護班の力を実感しました。



田中 瑞貴 会長 京都府青少年赤十字高校生メンバー協議会



令和6年1月27日に四条河原町交差点にて、田中会長を含む青少年赤十字高校生メンバー40名による街頭募金活動が行われ、50万円以上もの募金が集まりました。

報告抜粋

「遠く離れていても、私たちにできることをしたい。」京都府青少年赤十字高校生メンバー全員が抱いていた共通の思いをもとに、街ゆく人々に全力で呼びかけ続け、多くの善意を集めることができました。

募金活動をしている時、私たちは避難所で過ごされている人たちのことを想像しました。日々の生活の中で手に入れていた小さな安心や楽しみも、一瞬にしてなくなり、何気ない日常を取り戻すことがどれほど遠い目標に感じられていたことでしょう。私たちにできることは、物資の提供だけでなく、被災者の方々の心に寄り添い続けることだと強く感じます。

義援金活動を通じて私たちは「少しでも力になりたい」という思いを持つことがいかに大切かということ学びました。私たち青少年赤十字は、これからも誰かの力になれるよう、さらに努力を重ねていきます。私たちは1人ではありません。「ひとりの100歩より、100人の1歩」という言葉が、私たちの心に強く響いています。

